

令和5年6月

湖西市定例記者会見



主 題

1 医療機器用リチウムイオン蓄電池の導入

資料 1

2 社会人向け実践教育への補助金の申請受付を開始

資料 2

情報提供

3 「近くで学べる！スマホ操作@郵便局」を開始

資料 3

4 企業版ふるさと納税贈呈式について

資料 4

参考資料

◆ 7月行事予定について

◆ 広報こさい6月15日発行号

令和5年6月22日

湖西市



医療機器用リチウムイオン蓄電池の導入

人工呼吸器や酸素濃縮器を使用する在宅患者や医療的ケア児者を停電時に支援するため、医療機器用リチウムイオン蓄電装置を導入しました。これは、地方自治体として全国初の取り組みです。

◆導入した物

「医療機器用リチウムイオン蓄電装置レムリア ME3000」
(国内唯一の医療機器規格 JIS T 0601-1 認証の可搬式蓄電装置)

◆個数

2台

◆配置場所

湖西市健康福祉センター



◆使用目的・使用方法

災害等で停電が発生した際に福祉避難所等に搬入し、人工呼吸器や酸素濃縮器等の生命維持装置に電力を供給します。

◆運転可能時間

1台で人工呼吸器（100W）を約33時間運転可能です。
停電が長時間に及ぶ場合には、電気自動車の外部給電機能で対応する予定です。

◆その他

湖西市では、在宅の難病患者や人工呼吸器等の医療機器使用者のうち希望者を、災害時避難行動要支援者名簿に掲載しています。

「メディアの方へ」 取材をお願いします 事前告知をお願いします ✓ 情報を提供します	「発表種別」 ✓ 記者会見 市長発表資料 記者会見 情報提供資料	「問い合わせ先」 所属名 地域福祉課 連絡先 053-576-4873 担当者 梅田
---	--	---

2023年6月22日

湖西市が全国初の取り組み 避難所へ医療機器用蓄電池導入

静岡県湖西市が、令和5年度重点施策において停電時に医療機器に使用できるリチウムイオン蓄電池の配備を発表した。在宅療養者への電力供給を目的とした全国初の取り組みで、SDGsの基本となる“誰一人取り残さない”という理念の実現へ前進している。

自宅で人工呼吸器や酸素濃縮器を使用する在宅患者にとって、電源の喪失は生命にかかわる深刻な事態である。災害による停電の可能性に加え、2022年はエネルギー危機・電力ひっ迫により日本の電力インフラの不安定さが改めて実感されるところとなった。医療機器のための予備電源の確保は必須である。

湖西市地域福祉課でも、在宅患者や医療的ケア児者への停電時の支援に大きな必要性を感じていた。

きっかけはとある新聞記事で、医療機器を使用する在宅患者がいかに停電に不安を覚えているか改めて知った事である。台風襲来時、自宅で17時間の停電を経験した難病の男性は「自分の身は自分で守るしかない」と痛感した」と語っていた。

在宅患者は停電時の予備電源を自分で備えなければならない。しかし、入手性の良い一般蓄電池やポータブル発電機のほとんどは電磁波や漏れ電流の危険性を理由に生命維持装置への接続を禁止しているため、これらの製品の使用はあくまで自己責任とされる。

医療機器への動作保証のない予備電源に頼るほかないとは、社会福祉を担う部署として看過できない状況であった。

そこで湖西市は、福祉避難所での在宅患者等受入れ体制の拡充を図るべく、医療機器に対応可能な蓄電池の導入を決定した。福祉避難所へ蓄電池を配備する、または患者の避難が難しい場合には停電した個人宅へ蓄電池を貸し出す事によって安定した電力供給を行うシステムの構築を進めている。

停電が長期に及ぶ場合には蓄電池への給電が必要だが、EV車の外部給電機能で対応していく予定だ。通電している地域で充電したEV車を現地へ送り、蓄電池へ給電する事で長時間の医療ケアが可能となる。

湖西市は「ゼロカーボンシティ」宣言によって行政におけるゼロカーボン化を推進しており、その一環として現在トヨタ社EV車C+pod（シーポッド）を所有している。

さらに市では、在宅の難病患者・人工呼吸器使用者の中で希望者を避難行動要支援者名簿に掲載し、災害時の状況の把握および速やかな支援に繋げる取り組みを始めた。

蓄電池は現時点では要支援者対策班の拠点に2台導入済みだが、将来的には市内各地区にある公共施設5ヶ所に配備し、どの地域で停電が発生しても迅速に対応できる体制を整えたいと考えている。

なお、医療機器への接続において、先に挙げたような安全性の不安があってはならない。そこで採用されたのが株式会社ナユタ（本社：浜松市、代表取締役：杉山雅彦）が2021年に発売したリチウムイオン蓄電池【LEMURIA（レムリア）ME3000】。医療機器規格を取得し、生命維持装置への接続を公的に認められている国内唯一の蓄電池である。1台で人工呼吸器（100W）を約33時間運転可能な電池容量を有し、可搬式のため避難所においても患者のパーソナルスペースを確保することができる。

SDGs17の目標の一つ“11.持続可能な都市”のテーマは『包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する』である。天災は避けられないものではあるが被害を最小限に抑える為に、要配慮者の目線でまちづくりを行う事が市政には求められている。今回の湖西市の施策は、在宅患者の不安を少なからず緩和させるものであろう。





社会人向け実践教育への補助金の申請受付を開始

令和5年度に新設した制度で、事業領域拡大など経営基盤の強化に取り組む市内事業者を支援するため、社員が社会人向け実践教育プログラムを受講する経費の一部を補助する制度の申請受付を開始します。

◆補助金概要

国立大学法人豊橋技術科学大学が実施する社会人向け実践教育プログラムの受講料の一部を補助します。

- ・補助率 : 1/2
- ・補助上限額 : 12万5千円
- ・その他 : 1事業所1回限り

◆対象事業者 次の全てに該当すること

- 1) 市内に主たる事業所を有すること
- 2) 市税等の滞納がないこと

◆補助対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月15日までの間に受講したもの
ただし、年度をまたぐものは対象外です。

◆受付期間

令和5年8月1日～令和6年2月29日

◆プログラムの一例

プログラム名	内容等
集積回路技術講習会	半導体製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習（5日、45時間）
半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演	半導体製造現場を体感することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・見学（1日、4時間）
技術者養成研修（初級機械加工）	機械加工を体験し設計業務に活かしたい技術者向け（2日、10時間）

《メディアの方へ》 取材をお願いします 事前告知をお願いします ✓ 情報を提供します	《発表種別》 ✓ 記者会見 市長発表資料 記者会見 情報提供資料	《問い合わせ先》 所属名 産業振興課 モノづくり推進室 連絡先 053-576-0018 担当者 岡部、熊谷
---	--	--

豊橋技術科学大学

社会人向け実践教育の 補助が受けられます！



事業領域の拡大等の経営基盤の強化に取り組む湖西市内の事業者を支援するため、国立大学法人豊橋技術科学大学が実施する社会人向け実践教育プログラムの受講料を補助します。



補助率 補助対象経費の **1/2以内**
上限額 **12万5千円**

対象事業者

- (1) 市内に主たる事業所を有すること
- (2) 市税等の滞納がないこと

補助対象

国立大学法人豊橋技術科学大学が実施する社会人向け実践教育プログラムの受講にかかる受講料の一部

補助対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月15日まで
※年度をまたぐものは非対象です。

申請期間 令和5年8月1日(火)～令和6年2月29日(木)

お問い合わせ先



053-576-0018



mono@city.kosai.lg.jp

湖西市産業振興課モノづくり推進室

申請書類のダウンロードはこちらから



<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/soshikiichiran/sangyoshinkoka/mono/1/13293.html>



産業技術科学分野

プログラム名	内容、日程等
集積回路技術講習会	半導体(LSI)製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習 ● 7/24～7/28、5日(45時間)【対面】
半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演	半導体製造現場を体感することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・見学 ● 随時受付、1日(4時間)【対面】
技術者養成研修(初級機械加工)	機械加工を体験し設計業務に活かしたい技術者向け ● 6/7～6/8、2日(10時間)【対面】
技術者養成研修(初級旋盤加工)	これから旋盤作業に従事する初心者及び機械加工を体験し設計業務に活かしたい技術者向け ● 5/11、5/18、6/1、各1日(5時間)*同日程で3回開催【対面】
先端データサイエンス実践コース	データサイエンスの基礎から実践的応用までを学べる人材養成講座 ● 10月～2月、9日(55.5時間)【オンライン】
次世代シーケンサー解析コース	次世代シーケンサーを用いた微生物群集構造解析実習 ● 9月、連続3日(18時間)【対面】
哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習	細胞の培養、観察、遺伝子導入など、講義・実習を交えて知識と技術を習得 ● 随時受付、連続3日(18時間)【対面またはオンライン】
アントレプレナーシップ教育プログラム (実践、入門、基礎、応用)	ビジネスアイデアの創出、ビジネスモデルの構築、アイデアの実践を重点的に実施 ● 実践: 5/11、5/18、5/25、6/1、6/8、5日(7.5時間) ● 入門: 6/15、6/22、6/29、7/13、7/20、5日(7.5時間) ● 基礎: 10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、8日(12時間) ● 応用: 12/8、12/15、12/22、1/5、1/19、1/26、2/2、2/9、8日(12時間)



申請方法

① 申請

- ☐ 交付申請書
- ☐ 誓約書
- ☐ 事業所の所在地を証明する書類
- ☐ 市税の滞納等がない証明書

交付決定通知書

② 実績

- ☐ 実績報告書
- ☐ 領収書の写し

交付確定通知書

③ 請求

- ☐ 通帳の「表紙」と表紙を開いた「見開きのページ」の写し

支払
指定された口座へ振り込みます。

「近くで学べる！スマホ操作@郵便局」を開始

スマートフォン、タブレットなどの操作が苦手なために、市からの様々なデジタルサービスを利用・享受できていない市民の皆様に対し、お住まいの近くの郵便局でスマホ操作の支援を行います。

※委託先である日本郵便株式会社とは、包括連携協定締結中。（令和3年12月締結）

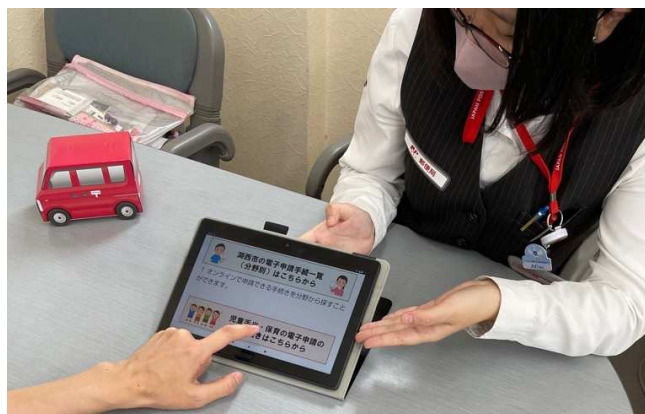
◆実施期間

令和5年7月 3日（月）から
令和6年3月29日（金）まで

◆場所

市内4か所の郵便局ロビー（入出郵便局・
新所郵便局・白須賀郵便局・新居郵便局）

◆内容など詳細



支援内容	郵便局員が下記内容について、スマホ操作に係る支援を行います。 ・公式アプリの導入支援、内容説明 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」、個人認証アプリ「xID」 ・電子申請に係る操作支援 水道使用量SMS受取登録、各種証明書申請 など ・健康増進、介護予防情報の取得に係る支援 情報ページ誘導、コーちゃん健康マイレージ利用支援 ・市公式LINEへの登録
利用方法	各郵便局へ電話等で予約 10時から16時まで対応
利用料	無 料

◆事業の狙い

デジタルが苦手な人のための支援事業（デジタルデバйд対策）は、市内公共施設で初心者向けのスマホ教室を、令和3年度から実施中。しかし、公共施設別の参加率にばらつきがあり、北部・南部の高齢化率が高い地域の参加者数が少ないことが課題。各地域で密着した支援ができるよう、地域の発展・活性化に取り組む郵便局と事業を企画。県内では藤枝市に続き2例目。

《メディアの方へ》 ✓ 取材をお願いします 事前告知をお願いします 情報を提供します	《発表種別》 記者会見 市長発表資料 ✓ 記者会見 情報提供資料	《問い合わせ先》 所属名 DX推進課 連絡先 053-576-4909 担当者 山本、菅沼
--	---	---



企業版ふるさと納税贈呈式について

株式会社中松より、企業版ふるさと納税を活用した寄附の申出がありましたので、贈呈式を行います。

◆日時・期間

令和5年6月28日（水）16：00

◆場所

湖西市役所2階 市長公室

◆内容など詳細

1. 寄付申出者

会 社 名：株式会社中松

代表者名：岡崎 敏明

所 在 地：静岡市駿河区宮竹2-3-1 <支店>浜松市南区中田島町484

営業内容：厨房設備設計・施行など

創 業：明治5年1月（法人成：昭和24年4月）代表

2. 支援事業

第2期湖西市まち・ひと・しごと創生推進計画に位置付けられた「結婚、出産、子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる事業」の実現に向け、ご支援をいただきます。具体的には、子育て支援施設の機能充実を図るために活用予定で、令和5年度は基金に積み立て、令和6年度以降に事業へ繰り出す予定です。

3. 寄附金額

100万円

4. その他

「企業版ふるさと納税」とは、地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について、法人関係税を税額控除する仕組みです。

＜メディアの方へ＞ ✓ 取材をお願いします 事前告知をお願いします 情報を提供します	＜発表種別＞ 記者会見 市長発表資料 ✓ 記者会見 情報提供資料	＜問い合わせ先＞ 所属名 企画政策課 連絡先 053-576-4910 担当者 高橋
---	--	---

7月 行事予定

7月の主な行事予定

■ 小中学校・幼稚園・保育園・こども園行事予定

湖西市

令和5年6月22日 現在

7月の主な行事予定

○ 7月16日(日) 2023青春ポップスコンサート

内 容	広報こさい6月15日発行号 16ページをご覧ください。
とき・ところ	開演13:00・浜名湖れんが館
問合せ	湖西軽音楽愛好会 (ARAMI STUDIO)
TEL	053-578-1308

○ 7月16日(日) 2023年親子つり体験教室

内 容	広報こさい6月15日発行号 16ページをご覧ください。
とき・ところ	8:00～12:00・浜名港特設会場
問合せ	浜名湖スポーツフィッシングフェスタ実行委員会
TEL	090-7025-7560

○ 7月23日(日) デカスポテニス親子体験会

内 容	広報こさい6月15日発行号 16ページをご覧ください。
とき・ところ	9:00～11:30・湖西市アメニティプラザ
問合せ	スポーツ・生涯学習課
TEL	053-576-8560

○ 7月29日(土) アマモ場で生きもの観察！

内 容	広報こさい6月15日発行号 16ページをご覧ください。
とき・ところ	9:00～12:00・南海荘(浜松市西区)
問合せ	環境課
TEL	053-576-1141

7 月 行 事 予 定								
日	曜	湖西市教育委員会 校長会・教育会	各 学 校 関 係					
			鷺津小	白須賀小	東小	岡崎小	知波田小	新居小
1	土							
2	日							
3	月		通訳面談 スクールカウンセリング		6年 カヤック体験			特別日課
4	火		通訳面談 子どもスポーツスクール			6年薬学講座		特別日課
5	水		通訳面談 B班わしっこ教室			宇別児童会 集団下校		
6	木		通訳面談 6年薬学講座	個別面談 13時下校	クラブ③			5年木曾交流
7	金		通訳面談 PTA給食試食会	個別面談 13時下校				特別日課 6年校外学習
8	土							
9	日							
10	月		通訳面談 スクールカウンセリング	個別面談 13時下校	早朝一斉指導 特日 個人面談① 午後カット 下校13時	6校時カット	個人面談 午後カット	個々面談 午後カット
11	火		通訳面談	個別面談 13時下校	特日 個人面談② 午後カット 下校13時	個人面談 午後カット	個人面談 午後カット	個々面談 午後カット
12	水		通訳面談 A班わしっこ教室		特日 個人面談③ 午後カット 下校13時	個人面談 午後カット	個人面談 午後カット	個々面談 午後カット
13	木		個別面談 午後カット		特日 個人面談④ 午後カット 下校13時	個人面談 午後カット	個人面談予備日	個々面談 午後カット
14	金		個別面談 午後カット		特日 個人面談⑤ 午後カット 下校13時	個人面談 午後カット		6校時カット
15	土							
16	日							
17	月	海の日						
18	火		個別面談 午後カット	3～6年 6校時カット	特別日課 下校14時	短縮日課、午後カット 月曜時間割		6校時カット
19	水		個別面談 午後カット		特別日課 下校14時	短縮日課		町別児童会 集団下校
20	木		6校時カット	4～6年 6校時カット	特別日課 下校11時30分		午後カット	6校時カット
21	金	終業式	終業式	終業式	終業式 下校11時30分	終業式	終業式 防災教育連絡推進会議	終業式 4校時以降カット
22	土							
23	日							
24	月							
25	火							
26	水							
27	木							
28	金				教科別研修会 教育講演会		教育会教科等研修会・講演会	
29	土							
30	日							
31	月							

7 月 行 事 予 定							
日	曜	湖西市教育委員会 校長会・教育会	各 学 校 関 係				
			鷺津中	白須賀中	湖西中	岡崎中	新居中
1	土		中体連浜松大会	中体連浜松大会 男女バレー・野球			
2	日		中体連浜松大会	中体連浜松大会 男女バレー・野球予備			
3	月		全校朝礼 専門委員会	3年総合 働く人の話（予定）	全校朝礼		
4	火					1年思春期講座	文化体験活動 ジュニア防災士養成講座
5	水			基礎学（国） 職員会議	専門委員会		部活動報告会 応援ブロック決定式
6	木			3年総合 働く人の話（予定）	P T A 常任委員会		
7	金				人権教室		
8	土		中体連浜松大会				
9	日		中体連浜松大会				
10	月		学年朝礼 避難訓練	面談 ⑥cut	生徒朝礼	保護者面談	
11	火			面談 ⑥cut	基礎学力テスト	保護者面談	文化体験活動
12	水		保護者面談 13:05下校	基礎学（数） 面談			保護者面談
13	木		保護者面談	面談 ⑥cut	三者面談（3年） 保護者面談（1・2年）	保護者面談	保護者面談
14	金		保護者面談	面談 ⑥cut	三者面談（3年） 保護者面談（1・2年）	保護者面談	保護者面談 生活アンケート
15	土		中体連浜松大会				
16	日		中体連浜松大会				
17	月	海の日	海の日		海の日	海の日	
18	火		保護者面談	短縮日課	三者面談（3年） 保護者面談（1・2年）	保護者面談	保護者面談
19	水		保護者面談 13:05下校	短縮日課 基礎学（英）	三者面談（3年） 保護者面談（1・2年）	保護者面談（予備日）	保護者面談 防災教育推進連絡会議
20	木		保護者面談	短縮日課	三者面談（3年） 保護者面談（1・2年）	部活動報告会	保護者面談
21	金	終業式	終業式 11:25下校		終業式 11:30下校	終業式	終業式
22	土						
23	日						
24	月						
25	火			中体連県大会 （バレー、野球）			
26	水			中体連県大会 （バレー、野球）			
27	木			中体連県大会 （バレー）			
28	金			教科等研修会・講演会 中体連県大会（野球）			
29	土			中体連県大会（野球）			
30	日						
31	月						

(7) 月 行 事 予 定 ※○数字:回数、()数字:対象年齢

日	曜	幼児教育課	鷺津幼稚園	白須賀幼稚園	知波田幼稚園
1	土				
2	日				
3	月	男女共同参画推進委員会	避難訓練(不審者)	安全の日	安全点検 交通安全の日③ 避難訓練(地震)④
4	火	園訪問(鷺津幼稚園)		避難訓練(不審者)	プール指導
5	水	幼児教育相談(岡崎幼稚園)		絵本サークル	リトミック①(自由参観)
6	木	園長会	人権教室	花火教室	絵本ボランティア②
7	金		七夕会	七夕会	七夕会
8	土		夕涼み会		
9	日				
10	月	巡回相談(新居幼稚園) 一時預かり保育打合せ	人形劇観劇	誕生会(7・8月)	
11	火	早朝一斉街頭指導	プール納め(3・4歳児)		夏祭り会
12	水		7・8月誕生会 給食終了	給食終了	誕生会(7・8月) 給食終了
13	木		個人面談① のびのび相談	11時降園 個人面談	避難訓練(風水害)⑤ ピカピカタイム 個人面談
14	金		プール納め(5歳児) 個人面談②	▼ わんぱくまつり	プールじまい ▼
15	土				
16	日				
17	月		(祝)海の日	海の日	(祝)海の日
18	火		親子交通教室 個人面談③	安全の日	観劇(むすび座) 安全点検 個人面談
19	水		避難訓練(風水害) 個人面談④		
20	木	さわやか親子支援連絡会	1学期終業式	第1学期終業式	1学期終業式
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火	定例教育委員会 言語指導連絡会			
26	水		入園説明会		
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

(7) 月 行 事 予 定

※○数字:回数、()数字:対象年齢

日	曜	岡崎幼稚園	新居幼稚園
1	土		
2	日		
3	月	安全点検① 交通安全の日 PTA交通指導	プール開き(0～2歳) プール指導(4歳) 交通安全の日
4	火	夕涼み会	お話の森
5	水	ピカピカタイム	すくすく相談 お店屋さんごっこ
6	木	プール開き(0～2歳) プール指導(5歳) 誕生会(幼児は7・8月 乳児は7月))	
7	金	七夕会	自由参観(5歳)
8	土	子育て相談	すくすく相談
9	日		
10	月	避難訓練(地震)	プール指導(5歳)ふたば学級(遊戯室)
11	火	給食終了(幼) 人權教室(5歳) プール指導(4歳)	防犯訓練(不審者) 給食終了(幼)
12	水	11時降園 個人面談	誕生会(7・8月3～5歳・7月0～5歳) 個人面談(3～5歳)
13	木	のびのび相談	花火教室(5歳)
14	金	安全点検②	避難訓練(火災)
15	土		PTA親子夏祭り
16	日		
17	月	海の日	
18	火	避難訓練(不審者)▼	
19	水	ピカピカタイム	すくすく相談
20	木	1学期終業式	1学期終業式
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		入園説明会
26	水		
27	木	のびのび相談	
28	金	入園説明会(幼)	ちょこっとボランティアオリエンテーション
29	土		
30	日		
31	月		